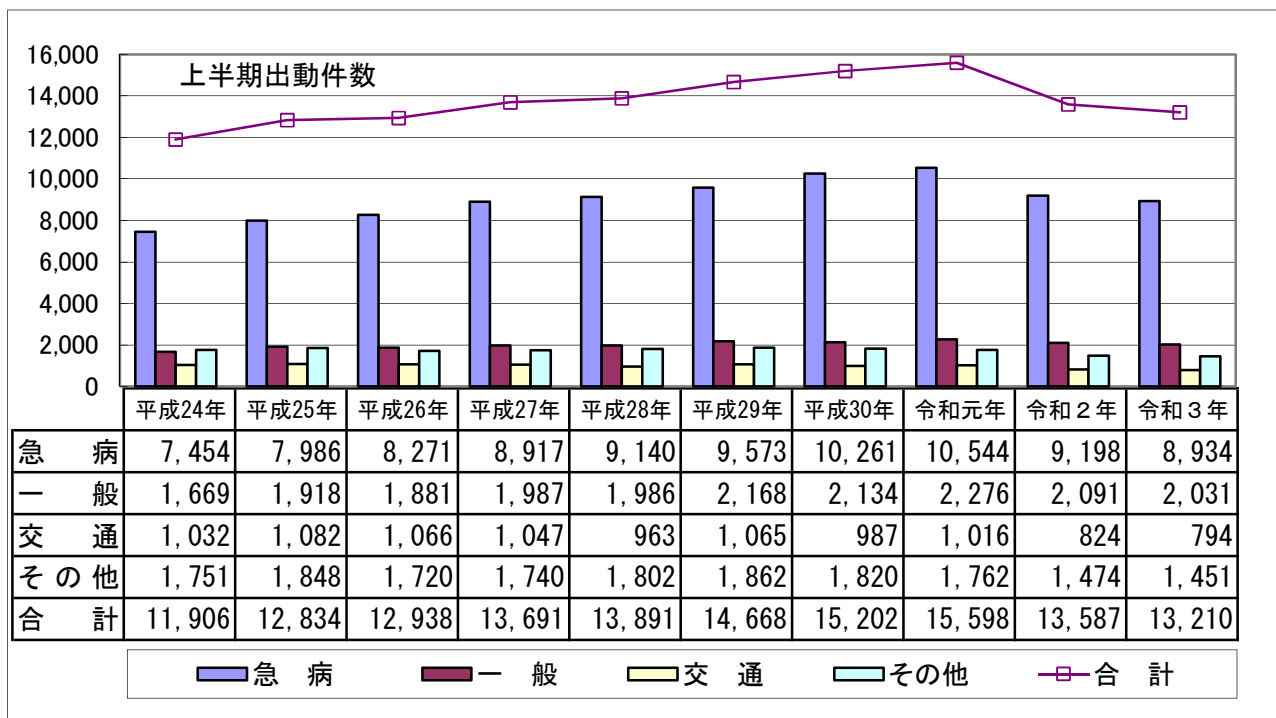


# 令和3年上半期救急概要

- 令和3年上半期（1月～6月）における救急出動件数は、13,210件（前年13,587件）で377件（2.8%）の減少となり、搬送人員は、10,903人（前年11,657人）で754人（6.5%）の減少となっています。1日平均は73.0件（前年74.7件）であり、約20分に1件の割合で救急隊が出動したことになります。

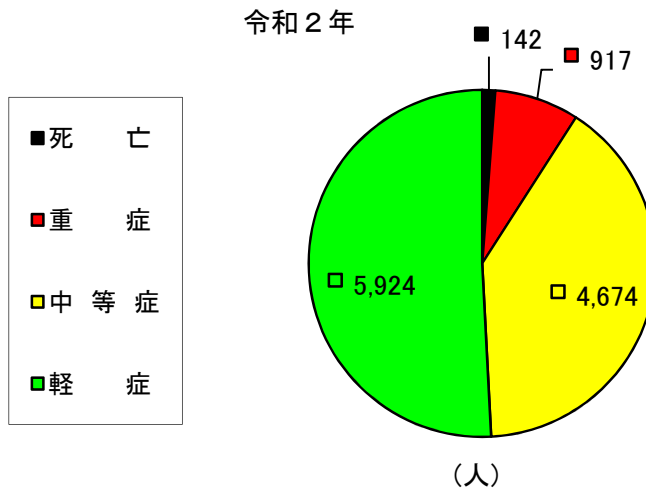
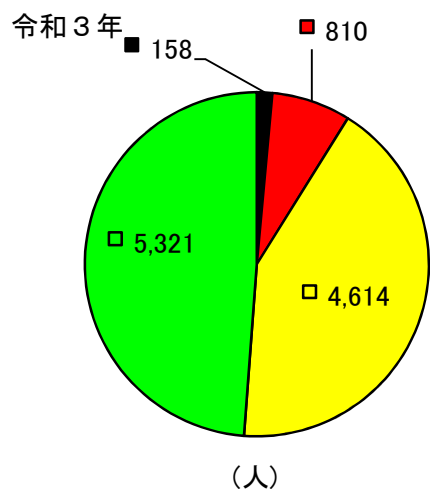
## 過去10年間の上半期救急出動件数の推移

- 過去10年間の上半期救急出動件数をみると、令和元年まで8年連続で増加していたが、令和2年は減少に転じ、令和3年は377件の減少となります。



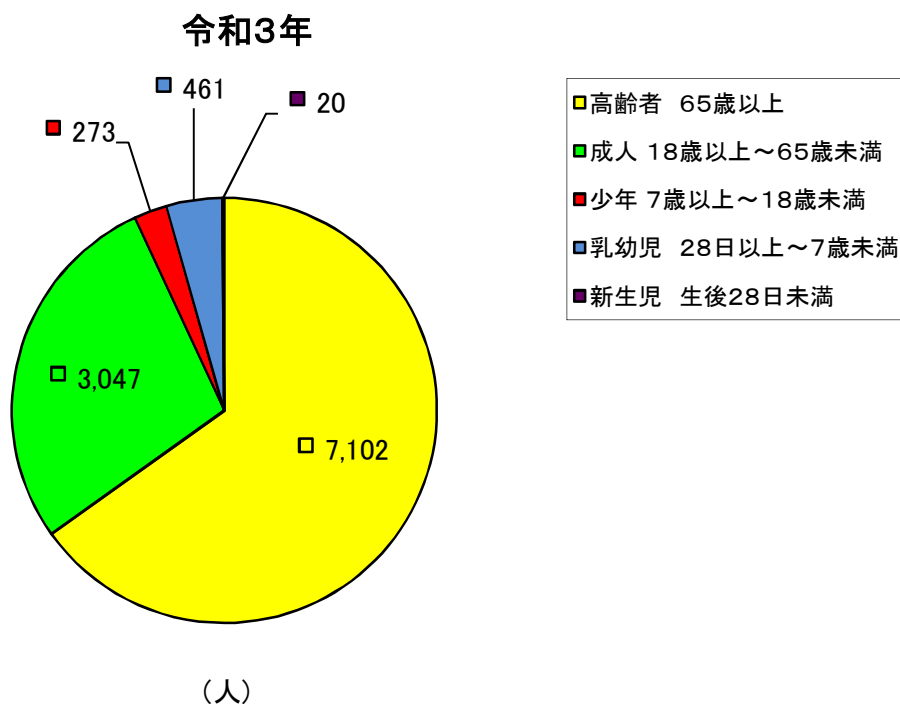
## 程度別

- 程度別をみると、軽症5,321人（前年5,924人）で603人（10.2%）の減少、中等症4,614人（前年4,674人）で60人（1.3%）の減少、重症810人（前年917人）で107人（11.7%）の減少、死亡158人（前年142人）で16人（11.3%）増加となっています。



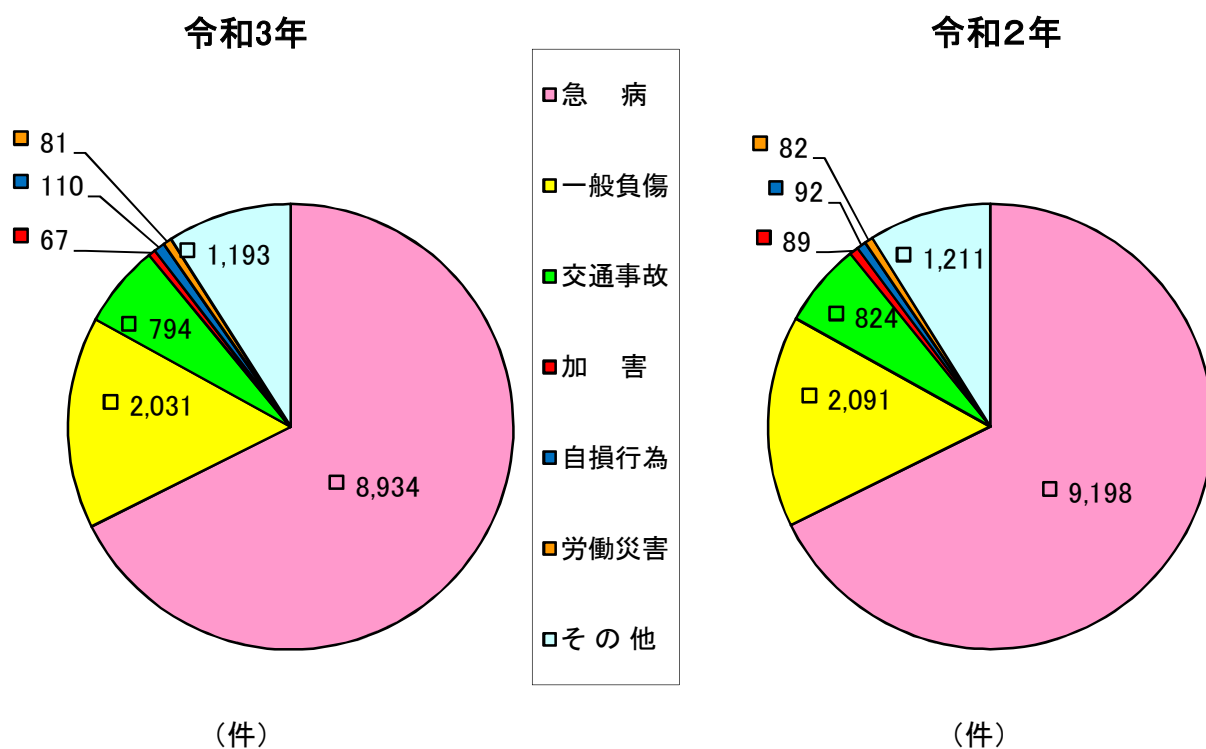
## 年齢区分別

- 年齢区分別をみると、高齢者が7,102人で最も多く、全体の65.1%を占め、以下、成人、乳幼児、少年、新生児の順となっています。



## 事故種別

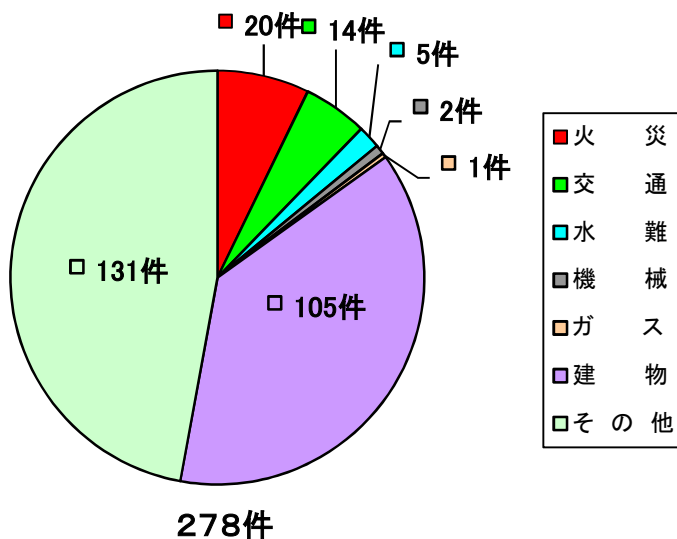
- 事故種別をみると、急病が最も多く全体の67.6%を占め、以下、一般負傷、交通事故の順となっています。



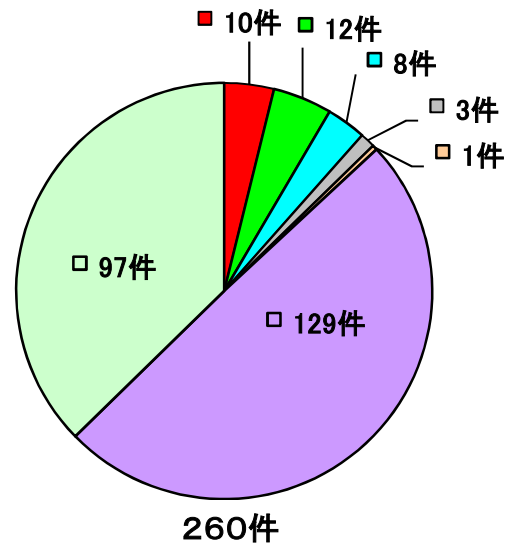
# 令和3年上半期救助概要

- 本市の救助体制は、高度救助隊1隊、特別救助隊1隊、署救助隊2隊、水難救助隊1隊で計5隊の救助隊を配置しています。
- 救助工作車は2台を有し、市域の南部に1台、北部に1台を配置し、あらゆる災害における救助体制の拡充、強化を図っています。
- 令和3年上半期の救助件数は278件（前年260件）で18件（6.9%）増加し、出動隊数は491隊（前年415隊）で76件（18.3%）の増加となっており、事故種別ごとにみると、建物等による事故が最も多くなっています。
- 近年では、室内閉じ込め救助が増加しています。この室内閉じ込め救助とは、何らかの理由により、自力でドアを開けて外に出られなくなった又は室内に人がいると思われるが、安否の確認が出来ない状態のことであり、救助件数278件のうち159件（57.2%）がこの室内閉じ込め救助となっています。

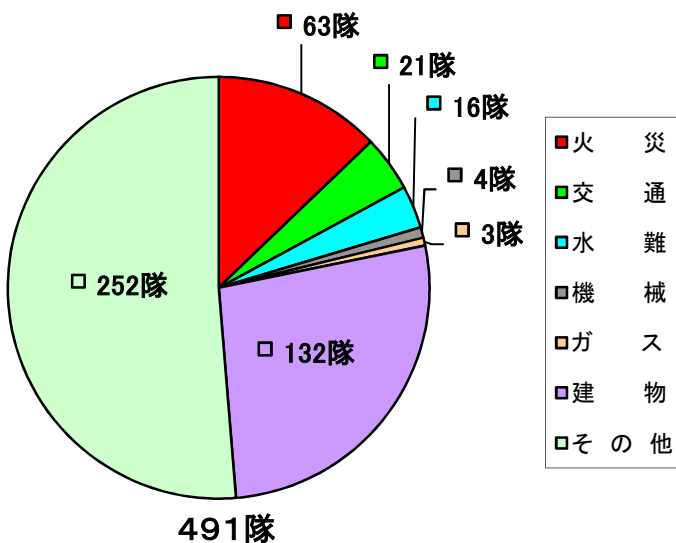
令和3年救助件数



令和2年救助件数



令和3年救助出動隊数



令和2年救助出動隊数

